

AREC・Fi i プラザ 第 228 回リレー講演会 (航空・宇宙)

- 「ライブ配信」と「後日、録画コンテンツの配信」をいたします。
申し込みいただいたメールアドレスに当日の限定視聴 URL をお送りします。
- 日時：令和 2 年 11 月 19 日 (木) 14:00~17:10
- 会場：信州大学繊維学部内 AREC (上田市産学官連携支援施設 4 階)
- 主催：東信州次世代産業振興協議会・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター
- 後援：八十二銀行、上田信用金庫、商工中金長野支店、長野県信用組合、長野銀行(連携協定金融機関 5 行)

講演 1

14:00~15:00

【演題】「エスバードでの航空機産業支援活動の紹介」

講師：長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門

航空機産業支援サテライト 航空機システム研究マネージャー 中田 行彦 氏

【概要】平成 28 年に長野県は「航空機産業振興ビジョン」を策定しました。その実現の中核を担う拠点として、エス・バードは位置づけられています。旧飯田工業高校跡地に、当センター航空機産業支援サテライトの他、信州大学南信州・飯田サテライトキャンパス、南信州・飯田産業センター、飯田工業技術試験研究所などが集結しています。ここでは各機関の活動概要をご紹介します。後半では「加工トライアル」、「無人航空機システム開発」、「民間航空分野での集団感染防止対策」等当センター航空機産業支援サテライトが現在進めている活動についてご紹介します。

講演 2

15:00~16:00

【演題】「航空機の電動化技術及びこれからの展開」

講師：公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 教授 雷 忠 氏

【概要】蓄電池技術の飛躍、軽量化材料技術の採用、電気電子製品の小型化などより、高性能な電気駆動モビリティが実現になりつつある。航空機産業界では、装備品システム電動化が進んでいる。また、電動航空機に関する研究開発が急速に活発となり、空飛ぶクルマの開発機運が世界的に高まっている。さらに今年、コロナ禍の影響による航空産業界が深刻な状況へ陥り、産業界の再編が必至である。このゲームチェンジの時代に航空機産業に参入する良いチャンスとして産業界状況、技術発展、参入について述べる。

休憩 10 分

講演 3

16:10~17:10

【演題】羽生田鉄工所の航空宇宙産業への取り組み(最新)

講師：株式会社羽生田鉄工所 代表取締役 羽生田 豪太 氏

【概要】圧力容器応用装置製造販売の羽生田鉄工所が、装置開発をきっかけに炭素繊維強化プラスチックに出会い、技術情報収集、様々な関連産業での人脈形成を通じ、航空宇宙産業にかかわってきたこれまでの振り返る。装置開発の概要、人脈形成の機会、各産業の情報収集の手段、それぞれの産業の中でのこれまでの取り組みと、これからの展望などについて解説する。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377) メール (mousikomi@arecplaza.jp) FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

AREC・Fi i プラザ 第 228 回リレー講演会 参加申込書(航空・宇宙)

(令和 2 年 11 月 19 日)

企業・機関名	
参加者名	
所属・役職	電話番号
メールアドレス	FAX 番号